

2020年度(令和2年度)

入 学 者 選 抜 要 項

- 外 国 語 学 部
- 経 済 学 部
- 文 学 部
- 法 学 部
- 地 域 創 生 学 群
- 国 際 環 境 工 学 部



北方キャンパス



ひびきのキャンパス



70th Anniversary Logo

公立大学法人
北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

本冊子は2020年度入学試験の概要のみ掲載しています。

出願方法・試験当日・試験終了後の重要な内容について、各選抜の学生募集要項に掲載します。出願前に必ず各選抜の学生募集要項をご確認ください。

学生募集要項は、下記のとおり本学ホームページに公開しますので、ダウンロードしてご確認ください。

選抜区分	学生募集要項 公開時期（予定）
編入学（国際環境工学部）	4月中旬
編入学 （外国語・経済・文・法学部）	7月上旬
AO入試	7月上旬
推薦入試	10月上旬
社会人特別選抜	10月上旬
帰国子女学生特別選抜	11月中旬
外国人留学生特別選抜	11月中旬
一般選抜（前期・後期日程）	11月下旬

※インターネット出願に伴い、学生募集要項は、紙媒体で配布しておりませんのでご了承ください。

CONTENTS

サテライト入試・インターネット出願について	1
1. 募集人員	2
2. 試験日程	3
3. 受験及び就学上の配慮について	3
4. 入学者選抜の実施教科・科目等	4
(1) 一般選抜	4
(2) 推薦入試	10
(3) AO入試	14
(4) 社会人特別選抜	15
(5) 帰国子女学生特別選抜	16
(6) 外国人留学生特別選抜	17
(7) 編入学（学士入学を含む）	18
5. 教育目的	19
6. アドミッション・ポリシー	20
7. ディプロマ・ポリシー	36
8. 2020年度入学試験の主な変更点	38
9. 2021年度入学試験の主な変更点（予定）	39
10. 入学試験資料等について	41
11. オープンキャンパス、出張ガイダンスについて	42
※ 交通アクセス	裏表紙

各選抜詳細については、変更される場合がありますので、必ず各選抜の募集要項で確認してください。

入学検定料の免除について

2020年度入学試験において、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震により被災された志願者の入学検定料の免除を行います。入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に必ず下記までご連絡ください。詳細については、本学のホームページでご確認ください。

連絡先 北九州市立大学広報入試課入学試験係 [北方キャンパス(文系)] TEL 093-964-4022

学務第二課入学試験係 [ひびきのキャンパス(理系)] TEL 093-695-3340

ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

《サテライト入試について》

北九州市立大学では、一般選抜（前期日程）の法学部において、サテライト（別会場）入学試験を広島市で実施しています。

サテライト（別会場）入学試験を実施することで、入学試験当日の交通費や宿泊代を節約できたり、心理的・体力的な負担を軽減できるなど受験生の利便性の向上が大いに見込まれます。

【実施概要】

- ①実施学部：法学部
- ②実施場所：広島市
- ③対象入試：一般選抜（前期日程）
- ※詳細については、2020年度一般選抜学生募集要項において、お知らせします。

《インターネット出願について》

北九州市立大学では、学部入試において、従来の紙の願書による出願方法を改め、パソコンやスマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

【インターネット出願のメリット】

- 出願書類（募集要項）の取り寄せは不要
- 24時間出願手続きが可能
- 内容の確認や修正が簡単、入力漏れ等を防止
- 入学検定料は、コンビニエンスストア・銀行 ATM・ネットバンキング・クレジットカードで支払い可能

【インターネット出願を導入している入学試験】

- ①一般選抜（前期・後期日程）
- ②推薦入試
- ③AO 入試
- ④社会人特別選抜
- ⑤帰国子女学生特別選抜
- ⑥外国人留学生特別選抜
- ⑦編入学（学士入学を含む）

【インターネットを利用した出願の流れ】



※出願の流れは、学部入試共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送・持参）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

1. 募集人員

学部・学群	学 科 等	募集 人員 合計	選 抜 区 分 別 募 集 人 員 内 訳 (人)											
			一般選抜		推 薦 入 試					ＡＯ入試	社会人 特 別 選 抜	外 国 人 留 学 生 特別選抜	帰国子女 学 生 特別選抜	編 入 学 (学士入学 を含む)
			前期 日程	後期 日程	全国	地域	商業科 総合学科	工業科 情報科 総合学科	特別					
外国語学部	英 米 学 科	135	76	12	18	9	－	－	－	20	－	若干名	若干名	若干名
	中 国 学 科	50	44	6	－	－	－	－	－	－	－	若干名	若干名	若干名
	国 際 関 係 学 科	80	45	5	15	－	－	－	5	10	－	若干名	若干名	若干名
経済学部	経 済 学 科	142	62	10	25	30	15	－	－	－	－	若干名	若干名	若干名
	経 営 情 報 学 科	142	62	10	25	30	15	－	－	－	－	若干名	若干名	若干名
文学部	比 較 文 化 学 科	142	70	10	27	30	－	－	5	－	－	若干名	若干名	若干名
	人 間 関 係 学 科	80	40	10	13	12	－	－	5	－	－	若干名	若干名	若干名
法学部	法 律 学 科	177	100	15	57	－	－	－	－	－	5	若干名	若干名	若干名
	政 策 科 学 科	76	40	10	23	－	－	－	－	－	3	若干名	若干名	若干名
地域創生学群	地 域 創 生 学 類	120	40	－	10	－	－	－	10	60	若干名	－	－	－
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	45	25	13	7	－	－	若干名	－	－	若干名	若干名	若干名	若干名
	機械システム工学科	45	25	15	5	－	－	若干名	－	－	若干名	若干名	若干名	若干名
	情報システム工学科 (注1)	70	42	20	8	－	－	若干名	－	－	若干名	若干名	若干名	若干名
	建築デザイン学科	50	34	10	6	－	－	若干名	－	－	若干名	若干名	若干名	若干名
	環境生命工学科	45	20	20	5	－	－	若干名	－	－	若干名	若干名	若干名	若干名
合 計		1,399	725	166	244	111	30	若干名	25	90	8	若干名	若干名	若干名
			891		410									

(注1) 3年次編入学のみ、情報メディア工学科である。

2. 試験日程

選抜名称	実施学部・学群等	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入学手続期間（予定）
一 般 選 抜 前 期 日 程	経 済 学 部 文 学 部 国際環境工学部	2020年1月27日(月) 2020年2月5日(水)	2020年2月25日(火)	2020年3月7日(土)	2020年3月9日(月) 2020年3月13日(金)
	外 国 語 学 部 法 学 部		2020年2月26日(水)		
	地 域 創 生 学 群		2020年2月26日(水) 2020年2月27日(木)		
一 般 選 抜 後 期 日 程	外 国 語 学 部 経 済 学 部 文 学 部 法 学 部 国際環境工学部		2020年3月12日(木)	2020年3月20日(祝・金)	2020年3月24日(火) 2020年3月27日(金)
推 薦 入 試	外 国 語 学 部 経 済 学 部 文 学 部 法 学 部 地 域 創 生 学 群 国際環境工学部	2019年11月1日(金) 2019年11月7日(木)	2019年12月1日(日)	2019年12月13日(金)	2019年12月17日(火) 2019年12月20日(金)
社 会 人 特 別 選 抜	法 学 部 地 域 創 生 学 群 国際環境工学部				
帰国子女学生 特 別 選 抜	外 国 語 学 部 経 済 学 部 文 学 部 法 学 部 国際環境工学部	2020年1月6日(月) 2020年1月10日(金)	2020年2月9日(日)	2020年2月14日(金)	2020年3月9日(月) 2020年3月13日(金)
外国人留学生 特 別 選 抜					（海外在住者） 2020年2月17日(月) 2020年3月13日(金)
A O 入 試	外 国 語 学 部 （英米学科） （国際関係学科） 地 域 創 生 学 群	2019年9月2日(月) 2019年9月6日(金)	1 次選考 2019年9月22日(日) 2 次選考 2019年10月13日(日)	1 次発表 2019年9月27日(金) 2 次発表 2019年10月18日(金)	2019年12月17日(火) 2019年12月20日(金)
編 入 学	外 国 語 学 部 経 済 学 部 文 学 部 法 学 部	2019年7月29日(月) 2019年8月2日(金)	2019年9月1日(日)	2019年9月6日(金)	
	国際環境工学部	2019年5月13日(月) 2019年5月17日(金)	2019年6月9日(日)	2019年6月19日(水)	

3. 受験及び就学上の配慮について

障害や疾病などで、受験上及び就学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ、出願開始日の2週間程度前までに指定する書類を提出してください。審査の結果、必要と判断された措置内容を通知しますので、その通知書を添えて出願していただくことになります。 ※事前相談・書類提出先：北九州市立大学【文系】広報入試課入学試験係、【理系】学務第二課入学試験係

4. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 一般選抜

① 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、志望する学部・学科等が指定する2020年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者

- ア 高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む：以下同じ）を卒業した者又は2020年3月卒業見込みの者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月修了見込みの者
- ウ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2020年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2020年3月修了見込みの者
- オ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2020年3月修了見込みの者
- カ 文部科学大臣の指定した者
- キ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2020年3月31日までに合格見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの
- ク 本学において、個別の入学資格審査（注1）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの

（注1）・本学の入学資格審査を希望し、大学入試センター試験に出願する予定の者は、2019年8月30日（金）午後5時までに、大学入学資格審査申請書（様式はホームページに掲載）を下記へ提出してください。

- ・他大学において入学資格の認定を受け、2020年度大学入試センター試験に出願した者で、改めて本学へ出願を希望するものについても、2020年1月17日（金）までに、大学入学資格審査申請書（様式はホームページに掲載）を下記へ提出し、本学の入学資格審査を受ける必要があります。

※大学入学資格審査申請書の提出先：北九州市立大学 広報入試課入学試験係

② 試験実施方式・日程について

- ・本学は、分離分割方式による前期及び後期日程試験で実施します。
- ・志願者は、分離分割方式の「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。

③ 追加合格について

合格者又は入学手続終了者が入学定員に満たない場合には、一般選抜においていずれの国公立大学にも入学手続をとっていない者を対象として2020年3月28日以降、追加合格による欠員補充を行うことがあります。

スカラシップ入試制度

《制度の内容》

優秀な学生の確保及び入学時の学費負担の軽減を図るため、一般選抜入試成績の上位者に対して入学金を1/2に減額します。

北九州市内居住者 通常 282,000円 ⇒ 対象者 141,000円

上記以外の者 通常 423,000円 ⇒ 対象者 211,500円

《減額対象者》

一般選抜の前期・後期日程別、学科別、入試区分別に選考し、各区分の募集定員に対し入試成績上位5%とします。

合計で50名程度になります。

《手続き等》

受験者は、出願時に申請等の手続きを行う必要はありません。

減額対象者には、合格通知に併せて本人に通知します。

④ 一般選抜の入試教科・科目等

記載中の、「第1解答科目」「第2解答科目」とは、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合に、解答順に、前半に受験した科目が「第1解答科目」、後半に受験した科目が「第2解答科目」です。

外国語学部

学 科	日程	募集 人員	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
英 米 学 科	前期	76	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ・数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英） から1 (注1) (注2)	200 } 100 } 300 (注4) 計600	外国語	英語 （コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	100分	400	1000	
	後期	12	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ・数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英） から1 (注1) (注2)	100 } 100 } 300 (注4) 計500	小論文	100分	200	700		
中 国 学 科	前期	44	国語（国語） 地歴・公民（世B、日B、地理B、現社、 倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B） 外国語（英） から1 (注3)	200 } 100 } 300 (注4) 計600	外国語	英語 （コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	100分	400	1000	追加 合格
	後期	6	国語（国語） 地歴・公民（世B、日B、地理B、現社、 倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B） 外国語（英） から1 (注3)	200 } 100 } 200 計500	小論文	90分	200	700		
国際関係学科	前期	45	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ・数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英） から1 (注1) (注2)	200 } 200 } 200 計600	外国語	英語 （コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	100分	400	1000	
	後期	5	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ・数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英） から1 (注1) (注2)	200 } 200 } 400 計800	面接	－	200	1000		

(注1) 理科は「基礎科目」を選択した場合は2科目、または「基礎を付さない科目」から1科目選択です。

(注2) 複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

(注3) 複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を採用対象の科目とします。(地理歴史及び公民の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。)

(注4) 大学入試センター試験の「外国語『英語』」の配点は、筆記200点、リスニング100点とします。

※大学入試センター試験の「外国語『英語』」には、リスニングの成績を含みます。(免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。)

経済学部

学 科	日程	募集 人員		大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法	
				指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点			
経 済 学 科 経営情報学科	前期	各学科 62	38	国語（国語） 地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、 地理 B、現社、倫、政経、倫・政経） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） （注 1）	から 1 } （注 2）	200 100 100	外国語	英語選択 英語 （コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	100分	200	800	追加 合格
			24	数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数 A、数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、 簿、情報から 1）（注 3） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 4 教科 4 科目	200 計 600	数 学						
	後期	各学科 10	地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、 地理 B、現社、倫、政経、倫・政経） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） （注 1）	から 1 } （注 2）	100 100 100		小論文	90分	100	400		
			数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数 A、数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、 簿、情報から 1）（注 3） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 3 科目	計 300								

(注1) 理科は「基礎科目」を選択した場合は2科目、または「基礎を付さない科目」から1科目選択です。

(注2) 地理歴史及び公民並びに理科(基礎を付さない科目)を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。(地理歴史及び公民並びに理科(基礎を付さない科目)の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。)

(注3) 数学を複数科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。

(注4) 数Bの出題範囲は、「数列」及び「ベクトル」。

※大学入試センター試験の「外国語『英語』」には、リスニングの成績を含みます。(免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。)

文学部

学 科	日程	募集 人員	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
比較文化学科	前期	70	国語（国語） 地歴・公民（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、 地理Ｂ、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅱ・数Ａ、数Ⅲ、数Ⅳ・数Ｂ、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から１） ３教科３科目	200 100 200 計 500 から ①（注２）	総 合 問 題	現代文と英語の理解力、 表現力、語彙力を問う	100分	200	700	追加 合格
	後期	10	国語（国語） 地歴・公民（世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、 地理Ｂ、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅱ・数Ａ、数Ⅲ、数Ⅳ・数Ｂ、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から１） ３教科３科目	100 100 300 計 500 から ①（注２）	小論文	現代文の理解力、表現力 を問う	90分	200	700	
人間関係学科	前期	40	国語（国語） 地歴・公民（世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、現社、 倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅱ・数Ａ、数Ⅲ、数Ⅳ・数Ｂ、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から１） ３教科３科目	200 100 200 計 500 から ①（注２）	小論文		120分	200	700	
	後期	10	国語（国語） 地歴・公民（世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、現社、 倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅱ・数Ａ、数Ⅲ、数Ⅳ・数Ｂ、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から１） ３教科３科目	200 100 200 計 500 から ①（注２）	集団討論		—	200	700	

(注1) 理科は「基礎科目」を選択した場合は2科目、または「基礎を付さない科目」から1科目選択です。

(注2) 複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

※大学入試センター試験の「外国語『英語』」には、リスニングの成績を含みます。(免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。)

法学部

学 科	日程	募集 人員	大学入試センター試験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
法 律 学 科	前期	100	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から1）（注1） 3教科3科目	200 } から1（注2） 200 } 200 計600	小論文		120分	300	900	追加 合格
	後期	15	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 外国語（英、独、仏、中、韓から1） 3教科3科目	200 } から1（注3） 200 } 200 計600	面接		—	200	800	
政 策 学 科	前期	40	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から1）（注1） 3教科3科目	200 } から1（注2） 200 } 200 計600	小論文		120分	300	900	
	後期	10	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 外国語（英、独、仏、中、韓から1） 3教科3科目	200 } から1（注3） 200 } 200 計600	面接		—	200	800	

（注1）理科は「基礎科目」を選択した場合は2科目、または「基礎を付さない科目」から1科目選択です。

（注2）複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注3）複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

※大学入試センター試験の「外国語『英語』」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外リスニング未受験者は、可否判定から除外します。）

地域創生学群

学 類	日程	募集 人員	大学入試センター試験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
地域創生学類	前期	40	国語（国語） 地歴・公民（世A、世B、日A、日B、地理A、 地理B、現社、倫、政経、倫・政経） 数学（数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、 簿、情報） 理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地） 外国語（英、独、仏、中、韓から1）（注1） 2教科2科目	100 } から1（注2） 100 } 計200	小論文 集団討論（注3） （志望理由書1200字以内） 調査書 活動・資格等実績申告書		90分 —	100 200 100	600	追加 合格

（注1）理科は「基礎科目」を選択した場合は2科目、または「基礎を付さない科目」から1科目選択です。

（注2）複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点（「外国語」については、利用配点に換算）の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科（基礎を付さない科目）の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注3）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

※大学入試センター試験の「外国語『英語』」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外リスニング未受験者は、「英語」を可否判定から除外します。）

※夜間特別枠については、2020年度入試から募集を停止します。

学 科	日程	募集 人員	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
エ ネ ル ギ ー 循 環 化 学 科	前期	25	国語（国語） 地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、 地理 A、地理 B、現社、 倫、政経、倫・政経）から 1 （注 1） 数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 5 教科 7 科目	100 50 100 100 100 200 計 750	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数 A、数 B （注 2）	120分	200	1150	
	後期	13	数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 5 科目	100 100 100 100 200 計 600	理 科	物理基礎、物理、化学基礎、化学 （注 3）	120分	200		
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	前期	25	国語（国語） 地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、 地理 A、地理 B、現社、 倫、政経、倫・政経）から 1 （注 1） 数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 5 教科 7 科目	100 50 100 100 100 200 計 750	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数 A、数 B （注 2）	120分	200	1150	
	後期	15	数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 5 科目	100 100 100 100 200 計 600	理 科	物理基礎、物理 （注 3）	120分	200		
情 報 シ ス テ ム 工 学 科	前期	42	国語（国語） 地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、 地理 A、地理 B、現社、 倫、政経、倫・政経）から 1 （注 1） 数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 5 教科 7 科目	100 50 100 100 100 200 計 750	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数 A、数 B （注 2）	120分	200	1150	
	後期	20	数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 5 科目	100 100 100 100 200 計 600	理 科	物理基礎、物理、化学基礎、化学 （注 3）	120分	200		
建 築 デ ザ イ ン 学 科	前期	34	国語（国語） 地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、 地理 A、地理 B、現社、 倫、政経、倫・政経）から 1 （注 1） 数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 5 教科 7 科目	100 50 100 100 100 200 計 750	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数 A、数 B （注 2）	120分	200	1150	
	後期	10	数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 5 科目	100 100 100 100 200 計 600	理 科	物理基礎、物理、化学基礎、化学 （注 3）	120分	200		
	後期	10	数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 5 科目	100 100 100 100 200 計 600	面接	（注 4）	—	200	800	

追加
合格

国際環境工学部 (続き)

学 科	日程	募集 人員	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験		個 別 学 力 検 査				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
環 境 生 命 工 学 科	前期	20	国語（国語） 地歴・公民（世 A、世 B、日 A、日 B、 地理 A、地理 B、現社、 倫・政経、倫・政経）から 1 （注 1） 数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学）から 2 理科（生物） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 5 教科 7 科目	100 50 100 100 200 200 計 750	数 学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数 A、数 B （注 2）	120分	200	1150	追加 合格
	理 科	物理（物理基礎、物理） 化学（化学基礎、化学）から 2 科目選択 生物（生物基礎、生物） （注 3）	120分	200						
	後期	20	数学（数Ⅰ・数 A） 数学（数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1） 理科（物理） 理科（化学）から 1（注 5） 理科（生物） 外国語（英、独、仏、中、韓から 1） 3 教科 4 科目	100 100 200 200 200 計 600		数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数 A、数 B）、 物理（物理基礎、物理）、 化学（化学基礎、化学）、 生物（生物基礎、生物）から 1 科目選択 （注 2、注 3）	90分	300	900	

(注1) 地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を配点の対象とします。

(注2) 数Bの出題範囲は、「数列」及び「ベクトル」とします。

(注3) 物理（物理、物理基礎）の範囲は「原子」を除くすべてとします。

(注4) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

(注5) 理科（基礎を付さない科目）を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を配点の対象とします。

※大学入試センター試験の「外国語『英語』」には、リスニングの成績を含みます。(免除者以外リスニング未受験者は、合否判定から除外します。)

※国際環境工学部前期日程は、志望の学科のほかに第2志望の学科（国際環境工学部の学科に限る）まで選択することができます。ただし、環境生命工学科を第1志望とする受験生は、第2志望の出願はできません。また、環境生命工学科以外の学科を第1志望とする受験生は、環境生命工学科を第2志望の学科として出願することはできません。

国際環境工学部の入試過去問題活用宣言への参加について

2010年度に実施の一般選抜試験から、国際環境工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加し、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

対象となるのは、国際環境工学部の次の試験区分、試験科目です。

■試験区分：一般選抜 前期・後期

■試験科目：「数学」、「理科」（物理・化学・生物）

※他の学部・学群は、「入試過去問題活用宣言」に参加していません。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。

<http://www.nyushikakomon.jp/index.html>

(2) 推薦入試

ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。

なお、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部以外の学校を卒業した者及び2020年3月に卒業見込みの者は、本学において事前審査を行い、認められれば高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者と同等であるとみなします。

イ 大学入試センター試験は課しません。

ウ 複数の学部（学群）・学科（学類）・推薦種別間で併願はできません。

外国語学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
英 米 学 科	全 国 推 薦	18	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの公的な資格を取得した個人（記載レベル以上） ・実用英語検定：準1級 ・TOEFL BT：68点（注1） ・TOEFL PBT：520点（注1） ・TOEIC L&R：640点（注1） ・GTEC（3技能）：760点（注2） ・GTEC（4技能）：1230点（注2、注3） ※資格を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	制限なし	面接と調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 推薦書・入学希望理由書は面接の際の資料とする。	英語による面接 （調査書）	—	240 60
	地 域 推 薦	9	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、2019年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するものの		調査書の全体の評定平均値が3.7以上で、なおかつ外国語（英語）の評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり3名	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による小論文 （推薦書） （調査書）	90分	200 30
国際関係学科	全 国 推 薦	15	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2020年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 （推薦書） （調査書）	120分	100 50
	特 別 推 薦 （語学重視推薦）	5	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、高等学校在学中に高い語学力をもつことを示す、次のいずれかの資格を取得したもの（記載レベル同等以上） ・英検2級 ・国連英検C級 ・TOEFL BT：61点（注1） ・TOEFL PBT：500点（注1） ・TOEIC L&R：600点（注1） ・GTEC（3技能）：650点（注2） ・GTEC（4技能）：1070点（注2、注3） ・中国語検定：3級 ・新HSK漢語水平考試：4級 ・韓国語能力試験：3級 ・ハングル能力検定：3級 等 ※資格を証明する書類を提出すること			制限なし	小論文の成績、調査書、推薦書、語学資格の実績をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 （推薦書） （調査書） 語学資格	120分	100 50

（注1）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

（注2）GTEC（3技能）・GTEC（4技能）はオフィシャルスコアに限りです。

（注3）GTEC（4技能）は、CBTタイプを含みます。なお、「GTEC CBT」のスコアを保有しており、推薦要件として用いる場合は、「GTEC」でのスコア証明書の提出が必要です。

経済学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
経 済 学 科	全国 推薦	25	高等学校を2020年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く） （注1、注2）	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が38以上であること	1 高等学校あたり各学科 1 名	小論文の成績と推薦書・調査書・取得資格等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	90分	100
経営情報学科		25				1 高等学校あたり各学科 3 名				
経 済 学 科	地域 推薦	30	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を2020年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く） ②北九州市外に所在する高等学校を2020年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く）で、2019年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの （注1、注2）		調査書の全体の評定平均値が4.3以上であること	1 高等学校あたり各学科 2 名				
経営情報学科		30								
経 済 学 科	商業科・総合 学科推薦	15	高等学校を2020年3月に卒業見込みの者で、商業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの （注2）		調査書の全体の評定平均値が4.3以上であること	1 高等学校あたり各学科 2 名				
経営情報学科		15								

（注1） 地域推薦に出席できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているもので、いずれかを選択することができます。
（注2） 卒業見込みの者には、留学等により2019年4月1日以降に高等学校を卒業できる者を含みます。

文学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
比較文化学科	推全 薦国	27	高等学校を卒業した者又は2020年 3 月に卒業見込みの者で、地域推薦の 基礎要件に該当しないもの （注1）		調査書の全体 の評定平均値 が3.5以上であ ること	1 高等学校 あたり 4 名	小論文の成績と推 薦書・調査書をそ れぞれ点数化し、 合計点をもとに総 合的に判断して合 格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書)	120分	200 } 30
人間関係学科		13				1 高等学校 あたり 2 名				
比較文化学科	地域 推薦	30	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を 卒業した者又は2020年 3 月に卒業 見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を 卒業した者又は2020年 3 月に卒業 見込みの者で、2019年 4 月 1 日 以 前から引き続き北九州市内に住所 を有するもの （注1）			1 高等学校 あたり 6 名				
人間関係学科		12	1 高等学校 あたり 3 名							
比較文化学科	特 別 推 薦	5	高等学校を卒業した者又は2020年 3 月に卒業見込みの者で、次のいずれ かの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動にお いて、都道府県大会 6 位以内又は それと同等以上の優秀な成績を修 めた出場部員 種目例：合唱、吹奏楽、書道、絵画、 演劇、放送、英語弁論等 ②高等学校在学中に体育系活動にお いて、都道府県大会 8 位以内又は それと同等以上の優秀な成績を修 めた出場選手 種目例：野球（硬式・軟式）、テニス（硬 式・軟式）、サッカー、ラグビー、バスケット ボール、卓球等 ③高等学校在学中に継続した社会活 動において、優れた実績を残し又 は特別な能力を発揮した個人 （活動例） ・日本赤十字社の奉仕活動 ・共同募金会の奉仕活動 ・校内外におけるボランティア活動 ④高等学校在学中に次のような資格 を取得した個人 例（記載レベル同等以上） ・実用英語検定：準 1 級 ・TOEFL iBT：61点（注2） ・TOEFL PBT：500点（注2） ・TOEIC L&R：620点（注2） ・GTEC（3技能）：705点（注3） ・GTEC（4技能）：1150点（注3、注4） ・実用仏語検定：準 1 級 ・独語技能検定：準 1 級 ・ワープロ検定：1 級 ・基本情報技術者 等 ※別に活動（又は資格）を証明する 書類を提出すること	次のいずれにも 該当すること ①当該学科への 入学意欲が強 く、当該学科 での勉学に適 性があること ②出身学校長が 責任をもって 推薦できる者 であること ③合格した場合 は、入学を確 約できる者で あること	調査書の全体 の評定平均値 が3.0以上であ ること	制限なし （注5）	小論文の成績、推 薦書、活動・資格 等の実績、調査書 等を総合的に判断 して合格者を決定 する。	小論文 推薦書 活動資格 等の実績 調査書 入学希望 理 由 書	120分	－
人間関係学科		5								

（注1） 地域推薦の推薦資格を満たす者の全国推薦出願を認めません。
（注2） 提出すべき成績通知書は、TOEFLでは「受験者控えスコア票」、TOEICでは「公式認定証」とします。なお、TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。
（注3） GTEC（3技能）・GTEC（4技能）はオフィシャルスコアに限りません。
（注4） GTEC（4技能）は、CBTタイプを含みます。なお、「GTEC CBT」のスコアを保有しており、推薦要件として用いる場合は、「GTEC」でのスコア証明書の提出が必要です。
（注5） 同一高等学校における同一業績による特別推薦合格者は、各学科1高等学校あたり1名に限定します。

法学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適 性 要 件 等	成績要件				時間	配点
法 律 学 科	全 国 推 薦	57	高等学校を卒業した者 又は2020年3月に卒業 見込みの者	次のいずれにも該当すること ①法学部への入学意欲が強く、 学業成績・人物ともに優れ 当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって 推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確 約できる者であること	調査書の全体 の評定平均値 が3.5以上である こと	制限なし	小論文の成績と推 薦書・調査書をそ れぞれ点数化し、 合計点をもとに総 合的に判断して合 格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書)	120分	300 } 30
政 策 学 科		23								

地域創生学群

学 類	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適 性 要 件 等	成績要件				時間	配点
地 域 創 生 学 類	全 国 推 薦 (地方創生推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2020 年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当 すること ①地域の課題に対し て強い関心を持って おり、地域の課題 解決に向けた取り 組みのアイデアや能力を持って いる者であること ②出身学校長が責任 をもって推薦でき る者であること ③合格した場合は、 入学を確約できる 者であること	調査書の 学習成績 概評がA 段階に属 すること	1 高等学校あ たり1名	事前課題に基づ く面接、推薦書、 調査書、入学希 望理由書をもと に、総合的に判 断して合格者を 決定する。	面接 事前課題 推薦書 調査書 入学希望 理由書	—	200
	特 別 推 薦 (活動実績推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2020 年3月に卒業見込みの者で、次 のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動 において、都道府県大会6位 以内又はそれと同等以上の優 秀な成績を修めた出場部員 種目例：合唱、吹奏楽、書道、 絵画、演劇、放送、英語弁論等 ②高等学校在学中に体育系活動 において、都道府県大会8位 以内又はそれと同等以上の優 秀な成績を修めた出場選手 種目例：野球（硬式・軟式）、 テニス（硬式・軟式）、サッカー、 ラグビー、バスケットボール、 卓球等 ③高等学校在学中に継続した社 会活動において、優れた実績 を残し又は特別な能力を発揮 した個人 (活動例) ・日本赤十字社の奉仕活動 ・共同募金会の奉仕活動 ・校内外におけるボランティ ア活動 ※別に活動（又は資格）を証 明する書類を提出すること	次のいずれにも該当 すること ①卓越した能力を活 かして、リーダー 的存在として地域 に貢献できる活動 へ取り組む意欲が ある者であること ②出身学校長が責任 をもって推薦でき る者であること ③合格した場合は、 入学を確約できる 者であること	調査書の 全体の評 定平均値 が3.5以上 であるこ と	1 高等学校あ たり2名	面接、推薦書、 活動実績、調査 書等を総合的に 判断して合格者 を決定する。	面接 推薦書 活動実績 に関する 資料 調査書 入学希望 理由書	—	200

国際環境工学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成 績 要 件				時間	配点
エ ネ ル ギ ー 循 環 化 学 科	全 国 推 薦	7	高等学校（工業科・総合学科推薦の基礎要件に該当する者を除く）を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①志望する学科への入学意欲が強く、学業成績・人物とも優れ、当該学科での勉学に適正があること（高等学校で物理及び化学を履修していることが望ましい） ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	化学及び物理を履修しており、化学・物理・数学のいずれかの評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり各学科2名	総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の資料とする。	総合問題（注1） 面接（注2）	120分 －	60 40
機械システム 工 学 科		5			次のいずれかに該当する者 ①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか1教科の評定平均値が5.0であること ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること					
情報システム 工 学 科		8	高等学校（工業科・情報科・総合学科推薦の基礎要件に該当する者を除く）を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者		調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり各学科4名				
建 築 デザイン学科		6	高等学校（工業科・総合学科推薦の基礎要件に該当する者を除く）を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者		次のいずれかに該当する者 ①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか1教科の評定平均値が5.0であること ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること					
環 境 生 命 工 学 科		5			数学または理科（物理、化学、生物のいずれか）の評定平均値が3.5以上であること					
エ ネ ル ギ ー 循 環 化 学 科	工 業 科 ・ 情 報 科 ・ 総 合 学 科 推 薦（情報科推薦は情報システム工学科のみ）	若干名	高等学校の工業に関する学科又は総合学科を卒業した者で、工業に関する科目を20単位以上修得したもの又は2020年3月に卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの 高等学校の工業に関する学科、情報に関する学科又は総合学科を卒業した者で、工業又は情報に関する科目を20単位以上修得したもの又は2020年3月に卒業見込みの者で、工業又は情報に関する科目を20単位以上修得見込みのもの 高等学校の工業に関する学科又は総合学科を卒業した者で、工業に関する科目を20単位以上修得したもの又は2020年3月に卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの		調査書の全体の評定平均値が4.5以上であること	1 高等学校あたり各学科4名（但し機械システム工学科は2名）		総合問題（注1） 面接（注2）	120分 －	40 60
機械システム 工 学 科										
情報システム 工 学 科										
建 築 デザイン学科										
環 境 生 命 工 学 科										

(注1) 自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系（数学、物理、化学）の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。ただし、環境生命工学科は「生物」の選択も可とします。

また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。

(注2) 面接では口頭試問を実施する場合があります。

(3) A O入試

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
イ 大学入試センター試験は課しません。

外国語学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
英 米 学 科	20	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ① 高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2020年3月に修了見込みの者	〈1次選考〉 英語による模擬授業の受講後、筆記試験を課す。筆記試験は、模擬授業の内容の理解度及びそれに基づく思考力・表現力を見る試験（英文和訳及び英作文を含む。）とし、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	英語による模擬授業 筆記試験	45分 90分	150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	面接（注1） （模擬授業に関する ディスカッション、 自己推薦書を含む。）	—	
国際関係学科	10	⑥ 文部科学大臣の指定した者 ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2020年3月31日までに合格見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 小論文の成績に基づき、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	小論文	60分	150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、集団討論、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論 面接 （自己推薦書）	—	

（注1）2次選考の面接は、1次選考の英語による模擬授業の理解度などを見るために、ディスカッションも課します。

地域創生学群

学 類	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
					時間	配点
地域創生学類	60	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ① 高等学校を2019年4月から2020年3月に卒業した者又は卒業見込みの者 ② 通常の過程による12年の学校教育を2019年4月から2020年3月に修了した者又は修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月に修了した者又は修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月に修了した者又は修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者（2019年4月から2020年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る） ⑥ 文部科学大臣の指定した者（2019年4月から2020年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る） ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に2019年4月から2020年3月までに合格した者又は合格見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 模擬授業の受講とそれに対する理解度を見るレポートを課し、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	模擬授業 レポート	45分 90分	} 200
			〈2次選考〉 1次選考の結果、集団討論、面接及び自己推薦書（1200字）（注1）を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論（注2） 面接 （自己推薦書）	—	

（注1）地域創生学群が指定する事業に参加した者は、参加したことを証明するものを添付することで自己推薦書に記載することができます。
記載された内容については、評価する際の加点要素として取り扱います。

（注2）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

(4) 社会人特別選抜

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
イ 大学入試センター試験は課しません。

法学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
					時間	配点
法 律 学 科	5	2020年4月1日現在年齢満22歳以上で、出願時において次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	面接、入学希望理由書を総合して合格者を決定する。	面接 (入学希望理由書)	—	200
政 策 学 科	3					

※法律学科と政策科学科をそれぞれ第一志望、第二志望として出願することができます。

地域創生学群

学 類	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
					時間	配点
地域創生学類	若干名	2020年4月1日現在年齢満21歳以上で、出願時において次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	課題論文の成績、面接、入学希望理由書を総合して合格者を決定する。	課題論文 面接 (入学希望理由書) (2000字程度)	90分 —	200 400

※夜間特別枠については、2020年度入学試験から募集を停止します。

国際環境工学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
					時間	配点
エネルギー循環化学科	若干名	2020年4月1日現在年齢満22歳以上で、出願時において次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校を卒業した者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合格点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。なお、調査書・入学希望理由書は面接の際の資料とする。	総合問題 (注1) 面接 (注2)	120分 —	40 60
機械システム工学科	若干名					
情報システム工学科	若干名					
建築デザイン学科	若干名					
環境生命工学科	若干名					

- (注1) 自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系(数学、物理、化学)の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。ただし、環境生命工学科は「生物」の選択も可とします。
また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。
(注2) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

(5) 帰国子女学生特別選抜

大学入試センター試験は課しません。

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個 別 学 力 検 査 等		
					科 目 等	時 間	配 点
外国語学部	英 米 学 科	若干名	保護者の海外在留により外国において学校教育を受けた日本国籍を有する者のうち、2018年4月1日以降に帰国したもので次の各号のいずれかに該当する者。 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は2020年3月31日までに修了見込みの者（上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育期間も含まれるが、外国において最終学年も含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠している学校に在学した者については、その期間を外国において教育を受けた期間とはみなさない。） ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④ フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤ 英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者	個別学力検査の成績、面接を総合して合格者を決定する。	日本語小論文 英語小論文 面接	90分 —	200 30
	中 国 学 科	若干名			日本語小論文 面接 TOEFL 又は TOEIC(注1)	90分 — —	70 60 70
	国 際 関 係 学 科	若干名			小論文 面接（注2） (TOEFL又はTOEIC(注1))	90分 —	100 200
経済学部	経 済 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	70 30
	経 営 情 報 学 科	若干名					
文学部	比 較 文 化 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	170 30
	人 間 関 係 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	140 60
法学部	法 律 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	100 100
	政 策 科 学 科	若干名					
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	若干名			小論文 面接（注3）	90分 —	60 40
	機械システム工学科	若干名					
	情報システム工学科	若干名					
	建築デザイン学科	若干名					
	環境生命工学科	若干名					

(注1) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT及びPBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。

(注3) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

大学入試センター試験は課しません。

(注1) 日本留学試験の成績は面接の際の参考としますので、指定するすべての教科・科目を受験してください。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とし、面接の際の参考とします。なお、提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはIBT及びPBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注3) 日本語の配点には、記述式の成績を加えたものとします。

(注4) 面接に際しては、入学希望理由書も評価の対象とします。

(注5) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはIBT及びPBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注6) 面接はA・B・Cの3段階で評価し、就学上問題があると認められる場合には、個別学力試験等の成績に関わらず不合格とします。

(注7) 日本留学試験「総合科目」の成績は面接の際の参考としますので、受験してください。

(注8) 集団面接による口頭試問は、入学希望理由書の内容に関することと面接者の質問に基づき実施します。

(注9) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

(7) 編入学（学士入学を含む）

大学入試センター試験は課しません。

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個別学力検査等		
					科 目 等	時間	配点
外 国 語 部	英 米 学 科	若干名	【外国語・文学部】 次の各号のいずれかに該当する者 【経済・法学部】 TOEFL スコア BT45点 (PBT453点) (注1) 以上、または、TOEIC L&R スコア450点 (注1) 以上のスコアを有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの 【国際環境工学部（一般選抜）】 次の各号のいずれかに該当し、かつ別表で指定する科目(単位の記載があるものについてはその単位数)を修得した者又は2020年3月31日までに修得する見込みのある者 ① 本学または他の4年制大学を卒業(2020年3月までに卒業見込みを含む)し、本学の学部に入学者を希望する者 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は2020年3月31日までに授与される見込みの者 ③ 短期大学を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者 ④ 高等専門学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑥ 他の新制大学2年次を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、他の新制大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2020年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること)を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者 ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2020年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限り)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩ 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の過程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限り)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限り)又は2020年3月までに修了見込みの者 (別表)	個別学力検査の成績、面接、入学希望理由書を総合的に判断して合格者を決定する。	英語 面接 (入学希望理由書)	90分 —	100 30
	中 国 学 科	若干名			中国語 (リスニングを含む) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	160 40
	国 際 関 係 学 科	若干名			小論文 (TOEFL 又は TOEIC (注1)) 面接 (注2) (入学希望理由書)	90分 —	100 200
経 済 学 部	経 済 学 科	若干名			専門試験 (マクロ経済学・ミクロ経済学) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	70 30
	経 営 情 報 学 科	若干名			専門試験 (マネジメント・会計・情報の3分野より各1問:全問解答) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	70 30
文 学 部	比 較 文 化 学 科	若干名			小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	170 30
	人 間 関 係 学 科	若干名			小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	140 60
法 学 部	法 律 学 科	若干名			小論文	90分	100
	政 策 科 学 科	若干名			面接 (入学希望理由書)	—	100
国 際 環 境 工 学 部 (一般選抜)	エネルギー循環化学科	若干名		個別学力検査(英語・数学)と口頭試問・面接の結果を総合的に判断して合格者を決定する。 入学希望理由書は面接の際の資料とする。	英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注3)	60分 90分 —	100 150 200
	機械システム工学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注4)	60分 90分 —	100 150 200
	情報メディア工学科 (情報システム工学科)	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注5)	60分 90分 —	100 150 200
	建築デザイン学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注6)	60分 90分 —	100 150 200
	環境生命工学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注7)	60分 90分 —	100 150 200
	エネルギー循環化学科	若干名			面接・口述試験	—	100
	機械システム工学科	若干名			面接・口述試験	—	100
国 際 環 境 工 学 部 (推薦選抜)	情報メディア工学科 (情報システム工学科)	若干名			面接・口述試験	—	100
	建築デザイン学科	若干名			面接・口述試験	—	100
	環境生命工学科	若干名			面接・口述試験	—	100
	エネルギー循環化学科	若干名			面接・口述試験	—	100

(注1) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。

(注3) 口頭試問は化学に関する専門知識とします。

(注4) 口頭試問は機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に関する専門知識とします。

(注5) 口頭試問は電子情報工学に関する専門知識とします。

(注6) 口頭試問は建築に関する専門知識とします。

(注7) 口頭試問は化学・生物学・環境工学に関する専門知識とします。

※ 編入年次について

編入年次は学部・学科で異なります。外国語学部の編入年次は3年次です。経済学部・法学部・国際環境工学部については、単位認定後の認定単位数により編入年次が決まりますので、3年次または2年次です。文学部については、比較文化学科は3年次、人間関係学科は原則として2年次です。

5. 教育目的

外国語学部：外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

	英 米 学 科	中 国 学 科	国際関係学科
《教育目的》	高度な英語運用能力と、英米及び英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

経済学部：幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

	経 済 学 科	経 営 情 報 学 科
《教育目的》	豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成	幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成

文学部：自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

	比 較 文 化 学 科	人 間 関 係 学 科
《教育目的》	日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化の理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成	人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

法学部：社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

	法 律 学 科	政 策 科 学 科
《教育目的》	法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成	地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成

地域創生学群：幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

《教育目的》	幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成
--------	--

国際環境工学部：環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、工学の多様化に対応できる基礎素養と工学的専門知識ならびに問題解決能力を備え、社会の持続的発展に貢献できる人材の養成

	エネルギー循環化学科	機械システム工学科	情報システム工学科	建築デザイン学科	環境生命工学科
《教育目的》	化学に関する基礎学力と実践力を身につけ、物質変換を含む物質の流れを制御することにより物質の生産、エネルギー・資源循環、環境改善を実現する人材の養成	機械システム技術者として、環境に配慮したもののづくりで、「豊かな社会」と「持続可能な社会」との両立に貢献できる人材の養成	電子・情報・通信を基礎とする情報システム工学を理解し、情報環境の生み出す諸問題を解決できる能力を持つ人材の養成	建築デザイン及び建築技術に関する基礎学力と実践力を身に付け、地球環境に配慮した建築・都市の創造と保全に貢献できるアーキテクト・マインドと技術者倫理を理解した人材の養成	生物や生態系を活用して新しい材料や技術を提案できるとともに、マネジメント手法や環境管理手法を身に付けた人材の養成

6. アドミッション・ポリシー

全学アドミッション・ポリシー

北九州市立大学は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

北九州市立大学は、強い意志と希望を持って、地域と共に発展し、世界（地球）の持続可能な社会、豊かな未来に向かって、「知の創造」を目指します。このような本学の目標に共感し、学修に臨みたいと考えるチャレンジ精神に溢れた人を求めます。

（入学者選抜の基本方針）

本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、学力の3要素を多面的、総合的に評価するため、一般選抜、推薦入試、AO入試など、多様な入学試験を実施します。

		求める能力
学 力 の 3 要 素	知識・技能	・学修を始めるに当たって、必要な知識と技能を備えている。
	思考力・判断力・表現力等の能力	・課題を深く思考して、合理的に判断し、自分の考えを分かりやすく的確に表現することができる。
	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	・主体的に、多様な人々とコミュニケーションを図り、他者の考えを理解できる。 ・他者との協働を通して、多様な考えを吸収し、自分を高めようとする意欲を持っている。

英米学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部英米学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
- 英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
- 国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。	・英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。	・異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 外国語：英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	小論文		○	
推薦入試 （全国推薦）	基礎学力テスト等 英語による面接 （推薦書、入学希望理由書）		○	○
	調査書			○
推薦入試 （地域推薦）	基礎学力テスト等 英語による小論文		○	
	推薦書・調査書	○		
AO入試	基礎学力テスト等 ＜1次選考＞ 英語による模擬授業 筆記試験		○	
	＜2次選考＞ 面接（模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。）			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 日本語小論文 英語小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 日本語小論文		○	
	面接 （TOEFL 又は TOEIC）	○		
編入学	個別学力検査等 英語		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

中国学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部中国学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人

○多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人

○修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。 - 英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。 - 外国語を修得する素養を備えている。	- 文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。 - 問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。	- 積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。 - ともに学び合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 外国語：英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 日本語小論文		○	
	面接		○	○
	TOEFL 又は TOEIC	○		
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 面接 （TOEFL 又は TOEIC）		○	○
編入学	個別学力検査等 中国語 （リスニングを含む）	○		
	面接 （入学希望理由書）		○	○

国際関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部国際関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
- 英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 - 国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。	- 国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 - 自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。	- 国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 - 文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 外国語：英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）	○	○	
一般選抜（後期日程）	大学入試センター試験	○		
	面接		○	○
推薦入試（全国推薦）	基礎学力テスト等	○	○	
	推薦書、調査書	○		○
推薦入試（語学重視推薦）	基礎学力テスト等	○	○	
	推薦書、調査書、語学試験資格	○		○
AO入試	基礎学力テスト等	○	○	
	＜2次選考＞ 集団討論 面接（自己推薦書）		○	○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等	○	○	
	面接 （TOEFL 又は TOEIC）	○		○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	面接 （TOEFL 又は TOEIC）		○	○
編入学	個別学力検査等	○	○	
	面接 （TOEFL 又は TOEIC、入学希望理由書）	○		○

経済学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部経済学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○経済活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経済学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・経済学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済社会の歴史や仕組みを理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・経済問題を論理的に思考・判断し、解決するために必要な数学の能力を身につけている。 ・文章を読み、その内容を分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を持っている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）又は数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
推薦入試 （全国推薦、地域推薦、 商業科・総合学科推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書、 取得資格等申告書			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
編入学	個別学力検査等 専門試験（ミクロ経済学・マクロ経済学の2分野より各1問：全問解答）	○		
	面接 （入学希望理由書）			○

経営情報学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部経営情報学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 企業をはじめとする様々な組織の経営活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人
- 大学で専門分野として学んだ経営学、会計学、情報科学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 経営学、会計学、情報科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 - 文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 - 様々な組織の経営活動の歴史や仕組みを理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	- 経営に関わる諸問題を論理的に思考・判断し、解決するために必要な数学的能力を身につけている。 - 文章を読み、その内容を分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を持っている。	- 様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 - 自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）又は数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
推薦入試 （全国推薦・地域推薦・総合学科推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書、取得資格等申告書			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
編入学	個別学力検査等 専門試験（マネジメント・会計・情報の3分野より各1問：全問解答）	○		
	面接 （入学希望理由書）			○

比較文化学科 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部比較文化学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人

○異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人

（求める能力、入学受入れにおける重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・多様な文化を学際的、総合的に研究するのに必要な基礎的な学力を持っている。	・文化に関する諸問題について、他者の考えを理解した上で自分の意見を論理的かつ的確に表現する力を持っている。	・多様な価値観や異なる文化的背景を尊重しつつ、他者と協働関係を築き、問題解決に臨む態度が身についている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 総合問題（現代文と英語の理解力、表現力、語彙力を問う）		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文（現代文の理解力、表現力を問う）		○	
推薦入試（全国推薦・地域推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書	○		
推薦入試（特別推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書、活動・資格等の実績、入学希望理由書			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 集団討論		○	
	面接 （TOEFL 又は TOEIC）	○		○
編入学	個別学力検査等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

人間関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部人間関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人

○真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・人間と社会や自然との関係について学際的、総合的に探究する学修を始めるに当たって、必要な基礎的な学力を持っている。	・人間関係の諸課題について他者の考えを参照しつつ、思考して自分の意見を構築し、それを的確に表現する力を持っている。	・多様な意見を尊重しつつ、包括的なコミュニケーションを通して協働的に物事を解決する態度を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 集団討論			○
推薦入試（全国推薦・地域推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書	○		
推薦入試（特別推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、活動・資格等の実績、調査書、入学希望理由書			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 集団面接による口頭試問		○	
編入学	個別学力検査等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

法律学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部法律学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人
- 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
- 大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・法律学を学ぶ上で必要な幅広い基礎的な学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・社会における諸問題に対して自分の頭で論理的に思考・判断することができる。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 面接			○
推薦入試 （全国推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書			○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等 面接 （入学希望理由書）			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 日本語小論文		○	
	面接			○
編入学	個別学力検査等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

政策科学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部政策科学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人
- 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
- 大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・政策科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・国や地域における様々な問題に対して、論理的に思考・判断し、解決するために必要な能力を持っている。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 面接			○
推薦入試 （全国推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書			○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等 面接 （入学希望理由書）			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 日本語小論文		○	
	面接			○
編入学	個別学力検査等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

地域創生学類 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学群地域創生学類は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○地域社会の諸問題に強い関心を持ち、探究心を持って主体的に行動し、学修する人

○地域社会に対する責任感と使命感を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・情報や課題を理解するために必要な読解力や文章表現力を備えている。 ・複雑な地域課題の解決のために、特定の分野の基礎知識を身につけている。 ・地域創生を達成するために必要な卓越した技能を有している。	・相手の発言の意図や求められている事を的確に理解し、それに応じるために必要な表現力を身につけている。 ・地域創生に関する講義や文章を理解し、論理的にまとめる思考力を身につけている。	・地域で活動する上で必要となる他者とのコミュニケーション能力や、自ら主体的に関わろうとする意欲を持っている。 ・自らのアイディアや経験を地域創生に活かす上での明確なビジョンを持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 小論文		○	
	集団討論 （志望理由書 1200字以内、調査書）			○
	活動・資格等実績申告書	○		
推薦入試 【地方創生推薦】	基礎学力テスト等 面接 （事前課題、推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○
推薦入試 【活動実績推薦】	基礎学力テスト等 面接 （推薦書、活動実績に関する資料、調査書、入学希望理由書）	○	○	
AO入試	基礎学力テスト等 ＜1次選考＞ 模擬授業 レポート		○	
	＜2次選考＞ 集団討論 面接（自己推薦書）		○	○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等 課題論文		○	
	面接 （入学希望理由書 2000字程度）			○

エネルギー循環化学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部エネルギー循環化学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○化学・エネルギー・環境に関心を持ち、その理解・応用の基礎となる知識・論理の修得を目指す人

○大学で学んだ知識を活かし、大学院での高度な知識の修得や、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 化学・工学を学ぶ上で基礎となる理科・数学に関する知識を身につけている。 - 多分野が関連するエネルギー・環境の学修のため、人文・社会・自然科学を問わず高校までの学問を幅広く修得している。 - 日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	対象とする課題の本質を理解し、解決策を論理的に導き、それを他者に的確に伝える力を身につけている。	- 化学・エネルギー・環境に強い関心を持ち、グローバルな視点で、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。 - 他者との協働による課題解決を実現するためのコミュニケーション能力を身につけている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）		○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 理科（化学基礎、化学）		○	
工業科・総合科学科推薦 （推薦入試）	基礎学力テスト等 総合問題	○	○	
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等 総合問題		○	
	面接 （調査書、入学希望理由書）		○	○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接		○	○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 面接		○	○
編入学（一般選抜）	英語	○	○	
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○	○	
	口頭試問（化学に関する専門知識）・面接		○	○
編入学（推薦選抜）	個別学力検査等 面接・口述試験		○	○

機械システム工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部機械システム工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 機械システム工学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
- 国際的な視点から技術の発展に貢献する意欲を持っている人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・機械システム工学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・機械システム工学分野を学ぶために必要な思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・将来、機械工学を用いて様々な環境問題の解決に取り組む意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）		○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）		○	
	理科（物理基礎、物理）		○	
工業推薦入試（全国推薦、総合学科推薦）	基礎学力テスト等 総合問題	○	○	
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等 総合問題	○	○	
	面接 （調査書、入学希望理由書）			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○	○	
	個別学力検査等 面接			○
編入学（一般選抜）	英語		○	
	個別学力検査等 数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○		
	口頭試問（機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に関する専門知識）・面接		○	○
編入学（推薦選抜）	個別学力検査等 面接・口述試験		○	○

情報システム工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部情報システム工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○情報環境の生み出す諸問題に関心を持ち、解決しようとする意欲を持っている人

○明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 情報系工学分野に関する専門知識を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 - 情報系工学の基盤となる数学、物理などの基礎学力を持っている。 - 日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	- 情報系工学分野を学ぶために必要な思考力と判断力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。 - 自分の考えを分かりやすく適切に表現するために必要な表現力を身につけている。	- 他者と積極的にコミュニケーションを図り、多様な考えを理解しようとする姿勢を持っている。 - 他者との協働を通じて多様な考えを吸収し、常に自分を高めようとする意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）	○	○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）、物理（物理基礎、物理）から1科目選択	○	○	
推薦入試 （全国推薦・工業科・情報科・総合学科推薦）	基礎学力テスト等	○		
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等	○		
	面接 （調査書、入学希望理由書）		○	○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等		○	
	面接	○		○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 面接		○	○
編入学 （一般選抜）	英語	○		
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○		
	口頭試問（電子情報工学に関する専門知識）・面接	○		○
編入学 （推薦選抜）	個別学力検査等 面接・口述試験		○	○

建築デザイン学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部建築デザイン学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 建築学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
- 誇りある建築技術者となるために必要な責任感、倫理観を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・ 建築学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・ 高度な専門知識を有する建築技術者や一級建築士を目指す上での基盤となる理数系の素養を持っている。 ・ 日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・ 建築学分野の諸課題を理解し、その対策案をデザインする力を身につけるための思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・ 構造・意匠・材料・エネルギー等の多様な観点から建築について学ぼうとする姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）		○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験	○		
	個別学力検査 面接		○	○
工業推薦入試 （総合学科推薦）	基礎学力テスト等 総合問題		○	
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等 総合問題	○		
	面接 （調査書、入学希望理由書）		○	○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別学力検査等 面接		○	○
編入学（一般選抜）	英語	○		
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○		
	口頭試問（建築に関する専門知識） ・ 面接		○	○
編入学 （推薦選抜）	個別学力検査等 面接・口述試験		○	○

環境生命工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部環境生命工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- バイオテクノロジー、生態保全、環境マネジメントに取り組む強い意欲を持っている人
- 生物の機能を活用した新技術の創出を目指す意欲を持ち、生命科学と化学に深い関心を持っている人
- エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・人文・社会・自然科学・語学を問わず、幅広い知識を身につけている。 ・工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの基礎学力を身につけている。 ・日本語と英語のコミュニケーション能力を持っている。	・問題を理解・解析し、思考発展させる能力を身につけている。	・明確な目標を持ち、そのための努力を惜みず、常に自らの能力向上を図る意欲を持っている。 ・将来は工学的見地から社会に貢献しようとする意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入試センター試験		○	
	個別学力検査	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）	○	
		理科（物理（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物（生物基礎、生物）から2科目）	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入試センター試験		○	
	個別学力検査	数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）、物理（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物（生物基礎、生物）から1科目	○	
推薦入試 （総合推薦）	基礎学力テスト等		○	
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
社会人特別選抜	基礎学力テスト等		○	
	面接 （調査書、入学希望理由書）			○
帰国子女学生特別選抜	個別学力検査等		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○	
	個別学力検査等	面接		○
編入学 （一般選抜）	英語		○	
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）		○	
	口頭試問（化学、生物学、環境工学に関する専門知識）・面接			○
編入学 （推薦選抜）	個別学力検査等	面接・口述試験		○

7. ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

豊かな「知識」	・地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 ・生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 ・国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。
知識を活用できる「技能」	・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

専門教育における学位授与方針

■外国語学部

観点	学科	英米学科	中国学科	国際関係学科
豊かな「知識」		・世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「ビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。	・国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。
知識を活用できる「技能」		・英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。	・中国語の4技能（読む・聞く・話す・書く）をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。	・国際関係論と地域研究の学修を通して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探索し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。	・変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。	・国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	・多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。	・国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」		・英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。	・中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。	・国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。

■経済学部

観点	学科	経済学科	経営情報学科
豊かな「知識」		・専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。
知識を活用できる「技能」		・経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要なとされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」		・経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。

■文学部

観点	学科	比較文化学科	人間関係学科
豊かな「知識」		・文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけているとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。	・人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。
知識を活用できる「技能」		・英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。	・人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。	・人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。	・人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」		・文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。	・人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。

■法学部

観点	学科	法律学科	政策科学科
豊かな「知識」		・社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。	・21世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。
知識を活用できる「技能」		・法的な問題点を抽出し、その解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。	・政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。	・社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・公共課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。
社会で生きる「自律的行動力」		・法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。	・公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。

■地域創生学群

観点	学科	地域創生学類
豊かな「知識」		・地域の再生と創造に関する専門知識を地域との関わりの中で総合的に理解している。
知識を活用できる「技能」		・地域の再生と創造に関する専門知識と地域活動を効果的に推進するための技術を、実践的に活用できる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・多面的な視野から地域が抱える問題の本質に迫り、創造的な思考と論理的な判断による解決案を、多様な他者に適切に伝えることができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・地域社会の中で多様な他者との豊かな関係を築くことができ、地域の再生と創造に向けて協力的に活動を進めることができる。
社会で生きる「自律的行動力」		・地域創生学の学修を通じて、地域の現状に関心を持ち続けながら、地域と社会の発展に向けて自律的に行動できる力を有している。

■国際環境工学部

観点	学科	エネルギー循環化学科	機械システム工学科	情報システム工学科	建築デザイン学科	環境生命工学科
豊かな「知識」		・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、化学に関する専門知識と実践力を身につけ、それらの知識を化学工業、エネルギー問題、環境問題と関連づけて理解している。	・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、ものづくりに必要な機械工学の基本的知識・基礎的学力を有し、環境問題をふまえた広い視野を持って重要な概念や知識を体系的に理解している。	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、情報系工学と関連分野の基礎知識を有し、その人間社会や環境における意義を体系的に理解している。	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、地球環境を視野に入れた総合的な視点をふまえた専門知識を有し、建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として体系的に理解している。	・数学・化学・生物・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、生命科学、環境科学、環境マネジメント学を基本とした専門的知識を総合的に身につけている。
知識を活用できる「技能」		・化学分野の技術開発に必要なとされる基本的な実験技術、データ整理、科学的な解析能力を身につけている。	・機械システム分野の技術開発に必要なとされる機械工学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御・システム工学などの基本的技能を身につけている。	・情報系工学分野の技術開発に必要なとされる情報通信、画像・音声処理、人工知能、計測制御、ソフトウェア開発、電子・集積回路設計などの基本的技能を身につけている。	・建築学分野の技術開発に必要なとされる、地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。	・環境生命分野に関する化学・生物・物理実験・調査、数理解析などを行うことができ、結果をふまえて、生態系や環境、社会に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・化学分野の学修を通じて、自ら得たデータや解析結果にもとづき化学の視点から論理的に思考・判断することによって、問題解決法を生み出す応用力を持つとともに、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・環境問題を考慮した上での機械システム技術の学修を通じて、新たな機械工学上の課題について、環境への負荷軽減や広い視野から諸課題を捉えて思考・判断し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・情報系工学分野に関する学修を通じて、人間社会や環境における様々な課題について、電子・情報・通信技術の本質を捉えた解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・建築学分野に関する学修を通じて、国際的及び持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・環境生命分野に関する学修を通じ、生命や環境における様々な課題について、生物・生態系が持つ高度な仕組みを活用した新技術や環境管理方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・化学分野の実験・実習科目やインターンシップ、卒業研究などを通じて、地域や組織での活動において自分の考えを相手に効果的に伝える技術や、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・機械システム分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・情報系工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを他者に効果的に伝え、発展的な議論を行い、相互に啓発し合いながら、協力して問題解決に取り組むことができる。	・建築学分野の立場から卒業研究・卒業設計、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・環境生命分野の立場から演習・実験や卒業研究、フィールドワーク、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」		・化学分野の学修を通じて、化学技術者としての社会的責任感と倫理観を身につけ、地球規模で抱えているエネルギー問題や環境問題への関心を持ち続け、問題解決に向けた意欲と行動力を有している。	・機械システム分野の学修を通じて、各方面で自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえた社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的に行動する力を身につけている。	・情報系工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観の観点から問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	・持続可能な国際社会の形成に貢献できる「アーキテクト・マインド」を修得する建築学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	・環境生命分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

8. 2020年度入学試験の主な変更点

(1) 地域創生学群夜間特別枠の募集停止等について

地域創生学群の一般選抜（前期日程）及び社会人特別選抜における夜間特別枠については、2020年度入学試験から募集を停止します。（社会人特別選抜の通常枠の募集人員は若干名とします。）それに伴い、社会人特別選抜の夜間特別枠の募集人員40名を他の選抜区分に振り分けて募集します。

(2) 募集人員の変更

地域創生学群

選抜区分	推薦種別等	旧（2019年度）	新（2020年度）
AO入試	—	30	60
推薦入試	全国推薦	8	10
	特別推薦	7	10
社会人特別選抜	夜間特別枠	40	—
一般選抜【前期】	—	35	40

(3) 本学入学試験で活用している GTEC の取扱いについて

現在、本学入学試験で活用している外部英語検定試験GTECの取扱いについて、下記のとおり変更します。

学部等	選抜区分	推薦種別	旧（2019年度）	新（2020年度）
外国語学部 英米学科	推薦入試	全国推薦	・ GTEC for STUDENTS：760点 ・ GTEC（3技能版）：760点 ・ GTEC（4技能版）：1230点 ・ GTEC CBT：1130点	・ GTEC（3技能）：760点 ・ GTEC（4技能）：1230点
外国語学部 国際関係学科	推薦入試	特別推薦	・ GTEC for STUDENTS：650点 ・ GTEC（3技能版）：650点 ・ GTEC（4技能版）：1070点 ・ GTEC CBT：950点	・ GTEC（3技能）：650点 ・ GTEC（4技能）：1070点
文学部	推薦入試	特別推薦	・ GTEC for STUDENTS：705点 ・ GTEC（3技能版）：705点 ・ GTEC（4技能版）：1150点 ・ GTEC CBT：1050点	・ GTEC（3技能）：705点 ・ GTEC（4技能）：1150点
経済学部	推薦入試	全国推薦 地域推薦 商業科・ 総合学科 推薦	【取得資格申告書・英語検定グループ】 ・ 評点10点 GTEC800（1280）【1190】以上 ・ 評点7点 GTEC760（1230）【1130】以上 ・ 評点5点 GTEC540（900）【780】以上 ・ 評点3点 GTEC480（800）【540】以上 ・ 評点1点 GTEC350（590）【480】以上 GTECスコアの（ ）前は GTEC for STUDENTS 及び GTEC（3技能版）を、（ ）内は GTEC（4技能版）を、 【 】内は、GTEC CBT を示す。	【取得資格申告書・英語検定グループ】 ・ 評点10点 GTEC800（1280）以上 ・ 評点7点 GTEC760（1230）以上 ・ 評点5点 GTEC540（900）以上 ・ 評点3点 GTEC480（800）以上 ・ 評点1点 GTEC350（590）以上 GTECスコアの（ ）前は GTEC（3技能）を、（ ） 内は GTEC（4技能）を示す。
			※上記、GTEC for STUDENTS・GTEC（3技能版）・GTEC（4技能版）は、オフィシャルスコアに限りません。	※上記、GTEC（3技能）・GTEC（4技能）は、オフィシャルスコアに限りません。 ※ GTEC（4技能）は、CBT タイプを含みます。なお、「GTEC CBT」のスコアを保有しており、推薦要件として用いる場合は、「GTEC」でのスコア証明書の提出が必要です。

(4) 推薦入試

現在、経済学部商業科・総合学科推薦の取得資格申告書・情報処理資格検定グループで対象としている、日本情報処理検定協会の情報処理技能検定を2020年度入学試験から対象外とします。

(5) 社会人特別選抜

国際環境工学部

学 科	旧（2019年度）		新（2020年度）			
	基礎学力テスト等		基礎学力テスト等			
		時間	配点		時間	配点
エネルギー循環化学科	総合問題（注１） 面接（注２）	120 分	60	総合問題（注１） 面接（注２）	120 分	<u>40</u> <u>60</u>
機械システム工学科						
情報システム工学科		—	40			
建築デザイン学科						
環境生命工学科						
	（注１）数学、物理、化学に関する基礎的な課題について、問題を理解し、解析し、思考発展させる力を、表現する力を通して総合的に評価します。但し、環境生命工学科については生物とそれに関する問題を含みます。（出題範囲：数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、物理基礎、物理、化学基礎、化学） 注：環境生命工学科については上記の出題範囲に加え生物基礎、生物を含みます。 数Bの出題範囲は、「数列」及び「ベクトル」とします。 物理基礎及び物理の範囲は、「原子」を除くすべてとします。 （注２）面接では、口頭試問を実施する場合があります。			（注１）自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系（数学、物理、化学）の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。ただし、環境生命工学科は「生物」の選択も可とします。また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題も含みます。 （注２）面接では口頭試問を実施する場合があります。		

9. 2021年度入学試験の主な変更点（予定）

(1) 選抜区分について

選抜区分の名称を次のとおり変更します。「推薦入試」→「学校推薦型選抜」、「ＡＯ入試」→「総合型選抜」

(2) 一般選抜

① 大学入学共通テストについて

ア 大学入学共通テストを活用します。

イ 教科・科目については、現行の大学入試センター試験で課しているものと同様とし、変更の予定はありません（法学部を除く）。

ウ 法学部の後期日程においては、現行の大学入試センター試験での選択科目に理科（物基、化基、生基、地基、物、化、生、地）を加えます（前期日程の科目と同じになります）。

エ 国語及び数学については、マークシート式問題に加え、新たに導入される記述式問題も活用します。

② 英語認定試験の活用について

英語認定試験（大学入試センターが認定した全ての「資格・検定試験」を対象とします）を大学入学共通テストの「英語」の得点と合わせて活用します。

※具体的な利用方法及び配点等については、詳細が決まり次第 HP 等で公表します。

③ 国語及び数学の記述式問題の活用について

共通テストの「国語」の記述式問題の段階別成績表示については、その結果を点数化し、マークシート式問題の得点と合わせて活用します。また、共通テストの「数学」の記述式問題の得点については、マークシート式問題と一体で出題され配点されることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

※国語の記述式問題の具体的な利用方法及び配点等については、詳細が決まり次第 HP 等で公表します。

④ 主体性等の評価について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、調査書や志願者本人が記載する資料、小論文、面接等の活用方法については、検討中です。

⑤ 個別学力検査の変更について

法学部

学 科	日程	旧（2020年度）			新（2021年度）		
		個別学力検査			個別学力検査		
		教科	科目等	時間	教科	科目等	時間
法 律 学 科	前期	小論文		120 分	小論文		90 分
政 策 学 科							

地域創生学群

学 類	日程	旧（2020年度）				新（2021年度）			
		個別学力検査				個別学力検査			
		教科	科目等	時間	配点	教科	科目等	時間	配点
地 域 創 生 学 類	前期	小論文 集団討論(注1) (志望理由書 1200 字以内) 調査書 活動・資格等実績申告書		90 分 —	100 — 200 100	課題論文 集団討論(注1) 活動・資格等実績申告書 (志望理由書 (1200 字以内)) 調査書		60 分 —	100 200 100

(注1) 集団討論は、グループワークを行うこともあります。

(3) 学校推薦型選抜

法学部

学 科	推薦 種別	旧（2020年度）					新（2021年度）				
		推薦要件 成績要件	選考方法	基礎学力テスト等			推薦要件 成績要件	選考方法	基礎学力テスト等		
					時間	配点				時間	配点
法 律 学 科	全国 推薦	調査書の全体の 評定平均値が3.5以上で あること	小論文の成績 と推薦書・調査書 をそれぞれ点数化し、 合計点をもとに総合的に判 断して合格者を決定する	小論文 （推薦書 調査書）	120 分	300 } 30	調査書の全体の 評定平均値が3.8以上で あること	小論文の成績 と推薦書・調査書・資格取 得等申告書をそれぞれ点数 化し、合計点をもとに総合 的に判断して合格者を決定 する	小論文 （推薦書 調査書 資格取得等 申告書）	90 分	150 } 50
政 策 学 科											

地域創生学群

学 類	推薦 種別	旧（2020年度）		新（2021年度）	
		選考方法	基礎学力テスト等	選考方法	基礎学力テスト等
地 域 創 生 学 類	全国推薦 （地方創生推薦）	事前課題に基づく面接、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。	面接 （事前課題 推薦書 調査書 入学希望 理由書）	事前課題に基づくプレゼンテーション及び口頭試問、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。	プレゼンテーション及び 口頭試問 （事前課題 推薦書 調査書 入学希望 理由書）
	特別推薦 （活動実績推薦）	面接、推薦書、活動実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	面接 （推薦書 活動実績に 関する資料 調査書 入学希望 理由書）	口頭試問、推薦書、活動実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	口頭試問 （推薦書 活動実績に 関する資料 調査書 入学希望 理由書）

(4) 総合型選抜

地域創生学群

学 類	旧（2020年度）				新（2021年度）			
	選考方法	基礎学力テスト等			選考方法	基礎学力テスト等		
			時間	配点			時間	配点
地 域 創 生 学 類	〈1次選考〉 模擬授業の受講とそれに対する理解度を見るレポートを課し、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	模擬授業 レポート	45分 90分	} 200	〈1次選考〉 集団討論、自己推薦書(1200字)、調査書を総合的に評価して、2次選考対象者（100名程度）を決定する。	集団討論 (注1) (自己推薦書 調査書)	—	200
	〈2次選考〉 1次選考の結果、集団討論、面接及び自己推薦書(1200字)(注1)を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論(注2) 面接 (自己推薦書)	—		} 200	〈2次選考〉 1次選考の結果、小論文及び個別面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	小論文 個別面接	60分 —
	(注1) 地域創生学群が指定する事業に参加した者は、参加したことを証明するものを添付することで自己推薦書に記載することができます。記載された内容については、評価する際の加点要素として取り扱います。 (注2) 集団討論は、グループワークを行うこともあります。					(注1) 集団討論はグループワークを行うこともあります。		

10. 入学試験資料等について

■ 2020年度 外国語・経済・文・法・国際環境工学部、地域創生学群入学試験

試験日	選抜区分		募集要項公開時期	出願期間
2019年6/9(日)	編入学	(国際環境工学部のみ)	4月中旬	5/13(月)～5/17(金)
9/1(日)	編入学	(外国語・経済・文・法学部)	7月上旬	7/29(月)～8/2(金)
9/22(日)	AO入試 ・外国語学部 英米学科 ・外国語学部 国際関係学科 ・地域創生学群	1次選考	7月上旬	9/2(月)～9/6(金)
10/13(日)		2次選考		
12/1(日)	推薦入試(外国語・経済・文・法・国際環境工学部、地域創生学群) 社会人特別選抜(法・国際環境工学部、地域創生学群)		10月上旬	11/1(金)～11/7(木)
2020年1/18(土)	大学入試センター試験			※出願先は大学入試センターになります。
1/19(日)				
2/9(日)	帰国子女学生特別選抜(外国語・経済・文・法・国際環境工学部) 外国人留学生特別選抜		11月中旬	1/6(月)～1/10(金)
2/25(火)	一般選抜(前期日程)	経済・文・国際環境工学部	11月下旬	1/27(月)～2/5(水)
2/26(水)		外国語・法学部、地域創生学群(1日目)		
2/27(木)		地域創生学群(2日目)		
3/12(木)	一般選抜(後期日程)	外国語・経済・文・法・国際環境工学部		

■ 資料の請求

北九州市立大学では、学部入試において、従来の紙の願書による出願を改めインターネット出願を導入しています。それに伴い、紙の願書(募集要項)は廃止しています。
各募集要項は、ホームページからダウンロードし確認してください。(※入学者選抜要項に出願書類は含まれていません)

【大学案内の請求】

- テレメール自動音声応答電話から請求する場合
(スマホ・携帯電話でも可)

☎050-8601-0101 (24時間受付)
(一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。)
次の資料請求番号(6桁)をプッシュしてください。

567332

あとはガイダンスに従って登録してください。
料金(送料含)が必要です。

- テレメール(インターネット)サイトから請求する場合

URL <https://telemail.jp>
(パソコン・スマホ・携帯電話共通URL)
567332 資料請求番号を入力したのち、ガイダンスに従って登録してください。料金(送料含)が必要です。



- 大学情報センターのサイトから請求する場合



あとはガイダンスに従って登録してください。
料金(送料含)が必要です。



<https://djcm-b.jp/kitakyu-u3/>

※ 注意事項

- 資料は通常、発送日からおおむね 3 ～ 4 日でお届けできます。日曜や祝日をまたぐ場合はお届けが遅くなる場合があります。また、地域や郵便事情によってはお届けに 1 週間程度要する場合があります。なお、17 時 30 分までの受付は当日発送、17 時 30 分以降の受付は翌日発送となります。発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。
- 料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙をご確認のうえ、資料到着後 2 週間以内にお支払いください。(支払いに際しては手数料が別途必要になります。コンビニ払いは 86 円。ケータイ払いは 50 円。クレジットカード払いは 50 円。ゆうちょ銀行・郵便局の ATM は 150 円、窓口は 200 円。コンビニ払いは消費税 10% 時は 88 円へ変更予定。) お支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になれます。ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1 回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話しください。登録された音声不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。



テレメールカスタマーセンター ☎050-8601-0102 (受付時間：平日9:30～18:00)

【大学案内の請求】

- 本学へ直接郵便で請求

本学宛の請求封筒の表に請求する資料名(募集要項の場合は選抜区分も)を朱書きし、受取人の郵便番号・住所・氏名を書いた返信用封筒[角型2号(24cm×33.2cm)に300円分の切手を貼付]を同封して送ってください。

請求先

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
北九州市立大学広報入試課入学試験係

問い合わせ

北九州市立大学広報入試課 ☎093-964-4022

11. オープンキャンパス、出張ガイダンスについて

《オープンキャンパスについて》

北九州市立大学への入学をお考えの方に、より本学を知ってもらうために大学説明会（オープンキャンパス）を行います。

● 学部別開催日程

北方キャンパス（外国語学部・経済学部・文学部・法学部・地域創生学群）

・日 時 2019年7月14・15日（日・祝・月）の2日間

・場 所 〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
（北九州モノレール競馬場前駅（北九州市立大学前）下車徒歩3分）

ひびきのキャンパス（国際環境工学部）

・日 時 2019年7月14・15日（日・祝・月）の2日間

・場 所 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
（JR折尾駅西口から市営バス〈33、37、64番〉に乗り、学研都市ひびきのバス停下車徒歩2分）
※オープンキャンパス当日は折尾駅西口から臨時バスが運行されます。

◇ お願い

参加にあたっては、WEBによる事前申し込みが必要です。

当日は、モノレール、バス等の公共交通機関をご利用ください。学内駐車場は利用できません。
申し込み方法や当日プログラムなど詳細については、大学のホームページでご確認ください。

《出張ガイダンスについて》

北九州市立大学では、遠距離にあり比較的志願者の多い地域で出張ガイダンスを行っています。

出張ガイダンスでは、学部の説明や入試・就職・学生生活に関する相談、在学生による個別相談など、本学の特徴を分かりやすく紹介します。

●開催都市・日程・会場等

熊本市	2019年8月18日（日）	ホテルメルパルク熊本 ※九州大学・福岡大学と合同
広島市	2019年8月25日（日）	広島国際会議場 ※九州大学・福岡大学と合同
大分市	2019年9月16日（祝・月）	全労済ソレイユ
鹿児島市	2019年10月6日（日）	TKPガーデンシティ鹿児島中央
広島市	2019年10月14日（祝・月）	TKPガーデンシティPREMIUM広島駅北口 ※コンパクトオープンキャンパス
福岡市	2020年1月25日（土）	博多バスターミナル

出張ガイダンスの詳細につきましては、大学のホームページでお知らせします。

ホームページアドレス

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

携帯電話サイト

<https://daigakuic.jp/kitakyu-u/>

携帯電話サイト QRコード
※対応する携帯電話で読み取れます



◇ 問い合わせ先

北方キャンパス

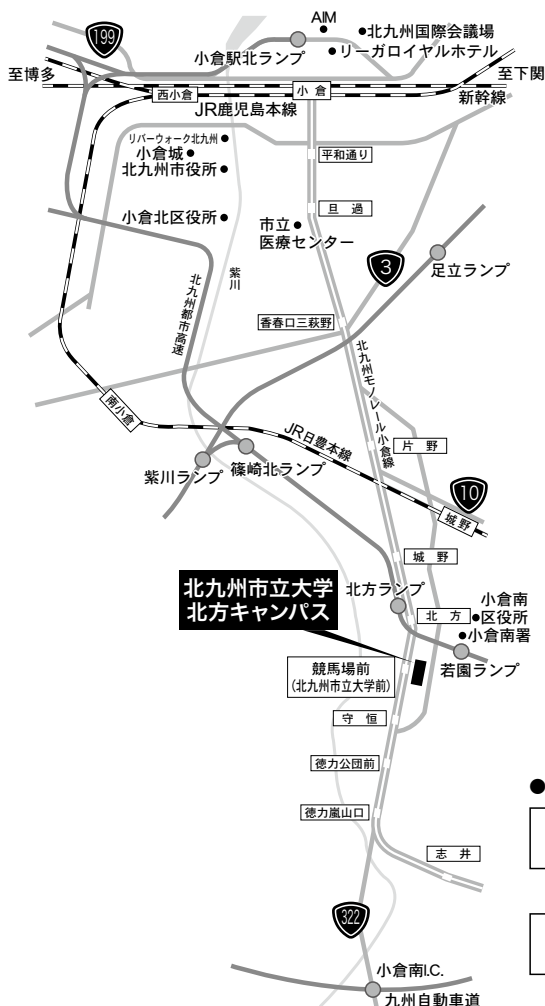
広報入試課（TEL 093-964-4196）

ひびきのキャンパス

学務第二課（TEL 093-695-3340）

交通アクセス

◆北方キャンパス



●北九州市立大学(北方キャンパス)

モノレール小倉駅
(小倉ビル3F)

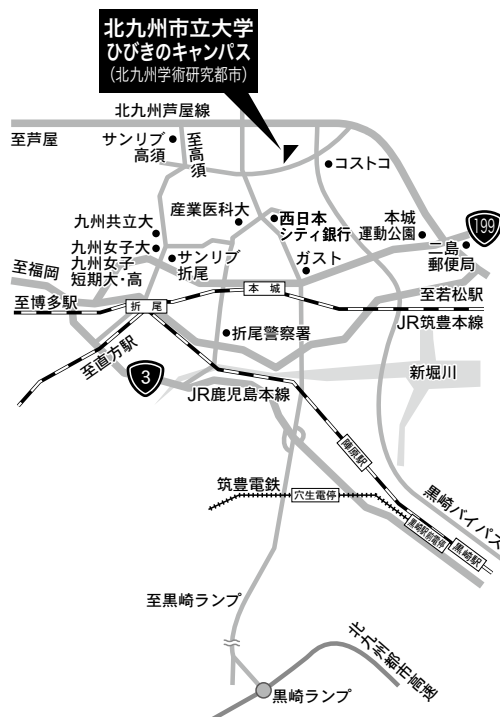
モノレール
約10分

競馬場前
(北九州市立大学前)

徒歩
約3分

北九州市立大学(北方キャンパス)

◆ひびきのキャンパス



●北九州市立大学(ひびきのキャンパス)

折尾駅西口

市営バス
約20分

学研都市ひびきの

徒歩
約2分

北九州市立大学(ひびきのキャンパス)

お問い合わせ先

北方キャンパス (外国語、経済、文、法学部、地域創生学群)

〒 802-8577

北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号

北九州市立大学広報入試課入学試験係

TEL.093-964-4022

ひびきのキャンパス (国際環境工学部)

〒 808-0135

北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

北九州市立大学学務第二課入学試験係

TEL.093-695-3340

ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

携帯電話サイト <https://daigakuic.jp/kitakyu-u/>

QRコード

※対応する携帯電話で読み取れます

